

KBI NEWS



〒630-0266
 奈良県生駒市門前町 22-1
 TEL: 0743-70-8600
 FAX: 0743-70-8601
 編集・発行人: 大田裕作
 郵便振替: 01140-6-67708
 銀行: 尼崎信用金庫上ヶ原支店普通 0015453
 Eメールアドレス: kbi-mark117@ares.eonet.ne.jp
 ホームページ: <http://www.kbiwave.com>

KBIに着任しました

関西聖書学院 スタッフ
 高橋めぐみ 師



昨年十月末にインドネシアより帰国し、四月からKBIスタッフとして着任しました。どうぞよろしくお願ひ致します。

KBIでよく尋ねられるのは「インドネシアから帰ってきてきて逆カルチャーショックはありますか」という質問です。もちろん何事もきっちりしている日本とのんびりでアバウトなインドネ

シアのカリマンタン島文化は違っており、私は今この日本に合わせようと努力中です。でも神学生は、というときカリマンタンの学生とKBIの学生たちは意外に似ていると感じています。KBI生は素直で、クリエイティブで、そして伸び伸びしています。

トーヴェ・ボルヨソン宣教師が今年七月末にノルウェーに本帰国され、私はその働きを引き継がせていただいています。決して忘れないように！と留意している事があります。それは働きのスタートとゴールに関し

てです。スタートとは、「いのちの木から食べるのを選ぶ」事です（創世記二章九節）。自分の判断や力に頼らず、内におられる聖霊なる神様の声を聞き、神様の知恵と力によって、神様と共に一緒に歩いていくイメージで進んでいきたいと願っています。もうわかっている事なのですが、でもやはり一日一日、そこからスタートしていきたいです。

それからもう一つは「ゴール」です。神様が描いてくださったゴールをしっかりと見据えていきたいです。このゴールはKBIの三つの柱の三番目である「宣教」のゴールでもあります。地上のあらゆる部族、民族、国語の人々がイエス・キリストを主とし、神の家族として一つとされる。そして神の栄光が天と地に完全に輝くというビジョンです（エペソ人への手紙一章十節）。KBIだけの発展、日本だけのリバイバルでなく、もっと向こうにあるゴールを見つめていきたいです。このゴールを目指す時に、日本と私が今まで仕えてきたインドネシアが繋がりに、世界が繋がっていきます。また諸教会とKBIを含める宣教の専門機関が繋がっていくのだと考えます。そしてキリストのからだ全体が見えてきます。私はその一部分である事を喜びながら、与えられている分を尽くしていきたいと願っています。他の部分の方々とはチームワークを組みながら。

ビジョンフェスタ

ビジョンフェスタの恵み

関西聖書学院 学院長

大田裕作師

第一回は二〇十四年の秋でした。フェイスブックによる呼びかけ「日本における教会増殖に関心ある方なら、参加資格を問いません」に心動かされました。その頃の私は「日本の津々浦々、山村、離島、限界集落にも宣教の拠点ができるように」と祈りの言葉は出せても、現実の話、具体的なイメージや戦略は動き始めていませんでした。

その二年前に北インドの増殖運動を視察し、鋭いチャレンジを受けていました。あの爆発的なメカニズムがこの国にどう移植されるのか…が課題でした。第一回目の東京での集まりから場所をKBI、神戸、宮城と移しながらこの運動は充実、浸透してきました。

そして今年の名古屋。「健康なリーダー育成」がテーマでした。この増殖運動とは十六世紀の教

会をモデルとした発想から、一世紀の初代教会モデルへの立ち返りの気付きなのです。カトリックというキリスト教社会の中に起こった宗教改革を起点にするのではなく、ローマ帝国（＝未伝社会）に主の受難と復活をダイナミックに宣べ伝えていったあの時代こそが学ぶべきモデルなのです。

二日間に亘ってなされた研修の中では、講演、証、パネルディスカッションがあり、大いに刺激を受けました。特に高知県の佐伯牧師、青森県の角本牧師の飾らない現場での証は素晴らしかったです。

今回はKBI生全員が一泊二日で参加しましたが、彼らの卒業・修了後の奉仕に鮮烈なチャレンジになったと確信します。準備委員では、まずは同胞の二%の救いを具体目標に戦略を進めていきます。この国の霊的岩盤にくさびを打ち続ける戦いが続いています。共に前進！ ハレ

キリストの弟子として

三年 岩井輝子

このビジョンフェスタを通して、多くの先生方から沢山の刺激とチャレンジを頂くと共に、また主の宣教に対する熱心さに、私自身の心が燃やされました。今回「日本の教会増殖のための弟子増殖」に焦点を当てて学んでいきました。御言葉からどんな弟子像を確信するのか、またどんな人を訓練していくのか、弟子訓練への決意について聴講



する中、イエス様も私自身を弟子として下さったこと、また育てる決意をして下さり、忍耐を持って関わり続けて下さっていることを再確認しました。大友先生の講義に「弟子を育てる時、失敗を恐れて何も出来ない弟子にしてしまうのではなく、失敗に対して寛大であることを前提にチャレンジさせること。上手くいくことが全て恵みとは限らない。失敗から学ぶのだから。」とありました。イエス様もペテロが裏切ることを知った上で彼の為に祈られたように、私たちをも決して諦めません。キリストの弟子は自分の罪や弱さを悟り、福音の力によって立ち上がることが出来ます。

日本にある五五〇の未伝地に誰が目を向け、誰が行くのでしょうか。誰かが行かなければならないのです。イエス様は羊飼いのいない羊を想い、心痛めておられます。教会がない地に福音を届ける必要があります。福音が新しい命を生み出し、教会を生み出し、弟子を生み出していきますように。私も福音を握り、主が命じられた働きに用いられていきたいです。

健康なリーダーの育成

三年 饒平名基喜

今回、教会増殖ビジョンフェスタ二〇一八に、二日間に亘り参加させて頂きました。今回のテーマは「健康なリーダー育成」でした。様々な角度から健康なリーダーの育成について語られました。教会での弟子作りの重要性とその成功例を知り、大きな励ましを頂きました。大田師が日頃語っておられる、日本の宣教の現状と課題、そして緊急性をわかりやすく語ってくださいました。



その中で個人的に心に残ったのは、小グループの交わりの中で講師の一人であった豊田師の言葉です。「教会増殖はアウトリーチ（福音宣教）とインリーチ（聖化）の両面が必要である。」という言葉でした。今回の集会では、ほとんどがアウトリーチの面について語られていた中で、豊田師はインリーチこそ必要であると力説してくださいました。インリーチとは、キリスト者が聖霊によって、キリストの似姿に変えられていく事です。「私たちは時々『私を見ないで、イエス様を見てください』と言うが、未信者は目に見えない神を、キリスト者の内に見る。キリスト者の内に形造られているイエス・キリストを見るのだ。そして、日本人は真理ではなく『道』、『生き方』を求めている。インリーチは身近である程、また時間が長くなる程、力強い宣教だ」と豊田師が語ってくださいました。アウトリーチとインリーチの両面の重要性を再確認する時となりました。

青年宣教大会

目の前の畑を見る

一年 柳本朝希

青年宣教大会の午前中のメッセンジャーであった、インドネシアの神学校で奉仕されているシャーリー・シウイ師は熱意溢れる力強い方でした。ヨハネの福音書四章三十五節の御言葉からメッセージを取り継いでいただきました。特に印象に残ったのは、「畑は色づいて刈り入れるばかりと何十年も聞いています。サタンは今じゃないと語ってくるが、主は地域で失われる魂に何をするかを問うておられる。『これは私の責任です』と言おう」という言葉です。この言葉を通して、私の前には教会が根ざしている畑があるということに目が開かれました。青年宣教大会の始まる前は、将来の働きやビジョンという、これから先のことが多く思っていました。しかし実際は、目の前にある畑が光に照らされて浮び出てきたようでした。そして、その畑に対して、私には何ができるのかという

チャレンジを受けました。現在、関わっている魂の救いのために、私自身が彼らとより密接に関わっていきたいと思われされました。また、様々な教会から集まった青年たちが心から賛美する姿に主への愛と、主の働きかけを感じました。主は彼らに何を語り、祝福の基としてどこへ遣わされるのか、どのように神の国が拡大し前進するのかを想像すると胸が高鳴ります。主がこの若い器たちを用いて、救われる魂がさらに増えていくという確信が更に強められました。





リトリート

@ 曾爾高原

静けさの中で

二年 森勇喜

十月十七日～十九日の期間、私たちは曾爾高原でリトリートの時間を持ちました。施設は大自然の中にあり、とてもリラックasできます。食事も美味しく、皆が準備や後片付けからも解放され、爽快な気持ちでした。十八日には、マーティ宣教師が来られFESTIVALというプログラムを持ちました。名前の通り、まるでお祭りをしているような楽しい雰囲気のプロگرامです。良い雰囲気心が解放されて、自然に体がいつも以上に動きました。それを通して「教会に導く手前のイベント」を体験的に教えられました。十九日には、二時間の個人デボーションの時間を持ちました。大自然の中でじっくり御言葉を読み、黙想しました。普段の寮生活の中では、なかなか取れない長時間のデボーション。その後、縦割りの小グループで集まり、リラックスした雰囲気の中、各々心にあることを分かち合えました。大変良い休養を持って感謝です。

羽を広げて

一年 山本静華

普段のKBI生活と全く違うスケジュールを全学年で共に過ごせたこの時間は、本当に恵みでした。自然の中でデボーションをし、皆と共に賛美や踊り、また子どものように心からレクリエーションを楽しめたことは、自分にとって新しい領域に入った感覚でした。KBIでの半年の生活を通して、仲間との関係性が出てきてきていること、自分を変えられてきたことが分かり、本当に感謝でした。ゲストスピーカーのマーティ宣教師と金子師が語ってくくださった「神様は、私たちが聖霊に満たされ、自由になることにより、私たちらしさが現れる事を願っている。そして、その楽しいコミュニケーションを通して、周りの人々が幸せになっていく」その事を今回のリトリートで経験させていただきました。「主は御霊です。そして、主の御霊あるところには自由があります。(第二コリント三章十七節)」



MTTC

MTTCの学びから

エレベートチャーチ

奥本耕史

「世界宣教達成の為の構想が神にはある。それは使徒の時代から今日に至るまで変わららず、弟子と呼ばれる人を用いるという方法である」最初の講義で語られたこの言葉は、新鮮に輝かしく私の心に入ってきました。世界宣教は神の国の一大事業であるにも関わらず、何と非効率的な方法を主は選ばれたのだろうか



かと思うと同時に、愛なる御旨を感じ、主は私をも用いられると期待に心を膨らませました。

私は、イエス様が語られたこととして宣教が聖書に記されているならきつと私にも関係があるとと思いました。「あなたは高価で尊い」という聖句は私の事として受け取れるのに、「あなたが行って」という聖句は私には無関係とは思えないと気付きました。そして私はどのように宣教に関われるのか知りたく受講に踏み出しました。

講義の中で、宣教に行かれた先生方の証から多くを学びました。また、宣教地でどのように助けられたかや、支える側目線の講義も学びとなりました。派遣する人と派遣される人、最前線で福音を語る人とあらゆる方法で助ける人。その全員が宣教師であり、置かれた場所で使命に生きる人々がいたからこそ、主は今日まで宣教を進めることが出来たのだということを知りました。私の思い以上に、主が用いたい形で宣教に携われるように前進していきたいです。

KBIを覚える日

今回でKBIを覚える日は十八回目となりました。今年も多くの教会で学生を迎えていただきました。皆様からの祈りの支えと尊い献金を感謝します。

尚、学生・理事・教師を迎えなくても尊い献金を捧げてくださった教会につきましては、次号にて掲載させていただきます。これからもKBIを覚えて、お祈りをもってお支えください。すよう、よろしくお願ひします。今回は本当にありがとうございます。

【学生チーム派遣奉仕教会】

- 小浜キリスト福音教会
- 堺シオン福音教会
- 金沢フィラデルフィヤ教会
- 小松島チャペル
- 鈴鹿キリスト福音教会
- 雲井キリスト福音教会
- 亀岡ベタニヤ教会
- 東京グレイス福音教会
- 東京グレイスプレイズチャーチ
- グレイス神戸ミッションチャーチ
- 野崎キリスト教会

- 神戸フィラデルフィア教会
- 八尾福音教会

須磨自由キリスト教会

川西福音教会

敦賀自由キリスト教会

ブンキョーゴスペルセンター

三国ライトハウス

さんだグレイスチャペル

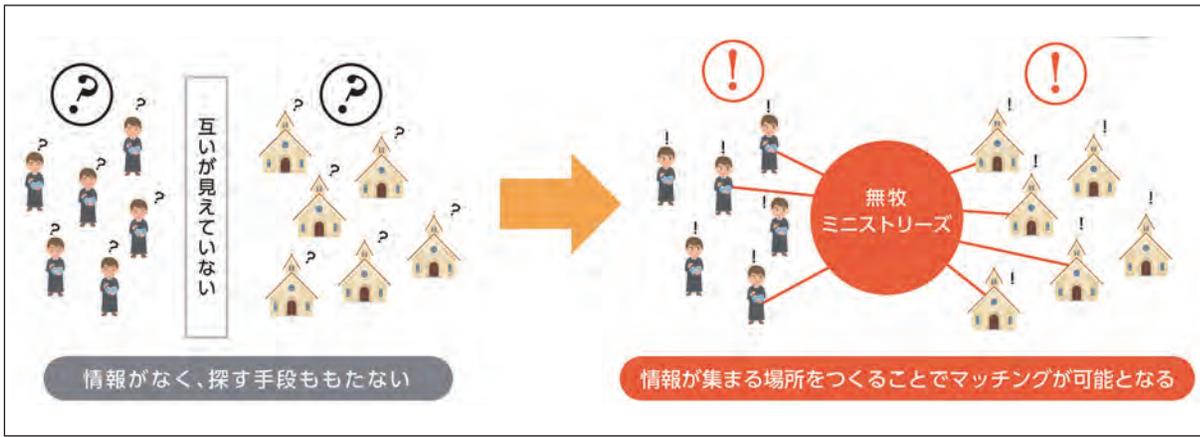
西可児キリスト教会

千代田福音教会

【理事・教師奉仕教会】

- 大阪西成教会 (相馬浩師)
- 瀬戸サレム教会 (高橋めぐみ師)
- 垂水福音教会 (高橋めぐみ師)
- 箕面福音教会 (小山大三師)
- 「House」(大田裕作師)
- 岡山チャペル (大田裕作師)
- 北鈴蘭台教会 (金森斉子姉)
- 大阪一麦教会 (道本純行師)
- ヒルズチャーチ (大田伯子師)
- 東京チャペル (大田伯子師)
- ゴスペルチャーチ千里 (大田伯子師)
- 和歌山福音教会 (李守師)
- ゴスペルライフ (北秀樹師)
- ベテル清水教会 (福野貴嗣師)
- 野崎キリスト教会 (兼松道子姉)
- 八尾南福音教会 (林田清隆師)

こうやって仕えています (I)



栗崎先生とご家族

無牧ミニストリーズ
幸町キリスト教会 牧師

栗崎路師

生まれ育った大阪から関東平野の田園風景が広がる茨城県筑西市に遣わされて七年目になります。私の仕える幸町キリスト教会は創立約二十年の歴史がありますが、中心メンバーとの間に確執が生じた前任牧師が殆どの教会員を連れて出て行ってしまい、二年ほどの無牧時代を経験していました。傷付き疲れた

教会の回復は非常にやり甲斐のあるものでしたが、想像以上に大変でした。それでも何とかやってこられたのは、KB I 同級生をはじめ、周りの方々の支えがあったからです。本当に感謝しています。無牧教会特有の問題や葛藤を痛感しつつも、教会の回復が一段落してきた牧会四年目、この経験を活かして他の無牧教会のためにも何かすることほできないかと考えるようになりました。祈る中で道が開かれ、二年をかけて「無牧の教会のためのサポートシステムの構築」というテーマの研究論文を書きました。そしてこの春より「無牧ミニストリーズ」を立ち上げました。主たる活動は牧師招聘を希望する教会と働き場を探す牧師を繋げることです。全国のプロテスタント教会約七九〇〇のうち、無牧の教会は約三〇〇。兼牧などを含めると、専任牧師がない教会は千余りに上り、実に全体の十三%です。詳しくは <http://saiwaicc.org/support/> をご覧いただければと思います。是非とも皆様にもお力添えいただけますよう、よろしくお願

いたします。私たちの教会も無牧を経験しましたが、回復し新しい人々もどんどん加えられています。メンバーの笑顔を見るとき、教会の素晴らしさとその回復の必要性を改めて思われます。「教会は、真理の柱また土台です」その教会に仕える特権を感謝しつつ、家族で楽しく主に仕えています。

●OB・OG通信●

ご結婚おめでとうございます

九月二十四日

久保献一師と佐藤環姉

十月八日

大角詩音師と荒川朱香姉

*十二年卒の金ソンプル師はご家族で十月、明石福音教会に着任されました。

*〇八年卒の奥田昭師は十月から大阪市のご実家で開拓を始められました。

*卒業派遣式は十九年三月七日(木)です。説教者は上田正美先生です。

こうやって仕えています(II)

ゆりかごから墓場まで

奈良キリスト教会 伝道師

NPO法人みぎわ スタッフ

平山利香師

「ゆりかごから墓場まで、すべての人々に寄り添う」ために設立されたNPO法人みぎわは、子どもの命をつなぐ「特別養子縁組」の活動と、人生の最期を迎える「ホームホスピスみぎわ」を運営しています。赤ちゃん、おじいちゃん、おばあちゃん、そのご家族と関わる日々は、福音を直接語る場ではありません。しかし、キリストの愛を伝え、寄り添うとはどういうことなのか、イエスの姿から学ばされ続けています。



右側が平山師



赤ちゃん体操指導中

暮らせない子供は四万五千人、毎年虐待死する子供五十人、中絶される命は一七万人。家族が崩壊することで、一番被害を受けるのは弱く小さな子どもたちです。神が造られた大切な命を一人でも助けるために、「特別養子縁組」の制度によって温かい家族に繋がっています。これまでに二名のダウン症の赤ちゃんが、新しい家族に繋がりました。障がいがあっても、その命をそのまま受け止めてくださる家族との出会いは、神の御業そのものでした。

ホームホスピスは、病や障がいがあっても最期までその人らしく暮らせる「もうひとつの家」です。いつか訪れる死を受け留めつつも、何気ない日常、食事、

団欒の中で安心して過ごすことで、心も身体も元気を取り戻されていく姿を目の当たりにします。

この二つの働きに共通するのは「家」であり「家族」です。神は「家」、「家族」の中に、人が生きていく力を引き出していく何かを組み込んでいるように思います。それは、血の繋がりを越えて働いています。

お出会いするその人への最善は、何か寄り添いつつ祈りつつ支えていくこと。それを丁寧に積み重ねていきたいです。



SNSほぼ毎週更新中

来年度から学びたい、そんなあなたに！
KBIの様子が写真や動画でのぞけます。

インスタグラム・ツイッター
アカウント：@kbi_jpn

フェイスブック
【KBI関西聖書学院】で検索





ご献金感謝します

献金者名簿 (日付順・敬称略) (2018.5.26 ~ 11.5) (KBI への直接献金分)

■一般会計献金

<KBI を支える会>

個人：兼松道子、熊本直美、山田裕一、豊村善典、伊達山洋子、安野清子、石崎政登、岩本美保、増永弘、馬場愛寿香、井野葉由美、高橋昭市、秋元清友、福元玲子、渡辺とも子、大田裕作、安黒務、田中憲昭、黄金井尚美、門谷院一、斎藤邦夫、上田絢子、林田清隆、出原市子、嵯峨根克人・和子、北中淳・洋子、大草美貞、山口美恵子、菅沼威、藤井三紀子、瀬野英子、岡本哲二、高橋めぐみ、酒井哲男、塚原利喜男・真理、山本満由美、松本亜紀子、山中多美子、菅徹哉・直美、真島義典、奥田昭、福田徹生、ラッセ&レーナ・ハイモネン、大濱英樹、匿名希望1名

教会 & 団体：京都シオンの丘キリスト教会、ゴスペルチャーチ千里、狭山福音教会、八尾南福音教会、ゆうあいちゃべる、奈良福音教会、美浜ベテルキリスト教会、千代田福音教会、山の辺キリスト教会、鈴鹿キリスト福音教会、可見福音教会、尾上聖愛教会、チャペル犬山、箕面福音教会、旭川神愛キリスト教会、峰町キリスト教会、活けるキリスト大阪一麦教会、西可見キリスト教会、カナン・ブレイズ・チャーチ、野崎キリスト教会、生駒福音キリスト教会、大阪キリスト栄光教会、大阪基督生命堂、三国クリスチャンチャペル、北広島チャペルキリスト教会、志度キリスト教会、西宮福音教会、舞子パークサイドチャペル中高生会

<運営支援献金>

フィラデルフィヤグループ合同集会、鶴見純福音教会、ベタニヤ・クリスチャン・アッセンブリーズ、保土ヶ谷純福音教会、岐阜純福音教会、御殿場純福音キリスト教会、岐阜純福音大森チャーチ、美濃グレースチャーチ、犬山キリスト純福音教会、ジャパン・ベサニー・ミッション、亀岡ベタニヤ教会、日本福音教会 (JEC)、岐阜ライフチャーチ

<特別献金>

1. 宣教ウィーク献金

教会 & 団体：ジーザスフェロシップ広島、上岩出キリスト教会、高松クリスチャンチャーチ、平田キリスト教会、喬木教会、金沢こころチャペル、有明パイブルチャーチ

2. 建設基金献金

個人：春名裕

教会 & 団体：秦野クリスチャンセンター、岐阜純福音教会

3. KBI 北陸公開講座指定献金

個人：匿名希望1名

教会 & 団体：大阪みなとコミュニティチャペル、垂水福音教会

4. その他

個人：トーヴェ・ボルヨソン、中島健雄・恭子、後山慎治、匿名希望1名

教会 & 団体：シオン・ライフ・チャーチ、国分福音教会

■奨学基金献金

個人：出原市子、芝蓮代、大草美貞、竹川正英、森本裕・真美子

教会 & 団体：伊勢崎神愛キリスト教会、高砂教会、西可見キリスト教会、野崎キリスト教会、犬山キリスト純福音教会

※2018年度より「建設基金献金」は一般会計の特別献金に移行しております。
※KBI への直接献金分のみ記載しています。各団体に献金して下さっている場合、教会名でなくその団体名を記載しています。どうぞご了承ください。